

## 令和6年度森林づくり県民税活用事業について

森林政策課

## [令和6年度当初予算のポイント]

- 第4期森林税の2年目として、各柱の取組をさらに加速化し、目標達成に向けて必要となる額を要求
- ① 森林の若返り促進のため、地域課題を踏まえた支援策を拡充・実施し、全県の再造林を推進
- ② 県民が広く親しめる里山づくりの支援や多くの県民等が里山に親しむための情報発信
- ③ 健康・教育・観光などに森林を活用する森林サービス産業の推進体制整備と創業等の支援、兼業を含むすそ野の拡大や林業に関わる多様な担い手の確保・育成
- ④ 河川沿いの支障木伐採やライフライン保全対策、野生動物による被害防止のための緩衝帯整備などに係る市町村の取組の支援

## 1 予算額

**768,584 千円** (令和5年度当初予算額：624,870 千円) 前年度比 123.0%

(単位：千円)

基本方針の柱	令和6年度 当初予算額	令和5年度 当初予算額	増減額
I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり	330,780	241,800	88,980
II 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり	153,162	129,390	23,772
III 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援	60,766	39,593	21,173
IV 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決	215,350	205,887	9,463
V 普及啓発、評価検証	8,526	8,200	326
合計	768,584	624,870	143,714

## 2 主な事業

## (1) 信州の森林づくり事業（人工造林・初期保育の嵩上げ）等

主伐・再造林等の加速化を図るため、人工造林や初期保育に加えて作業の省力化、植栽木の食害対策等に対する支援

◆ 予算額 174,580 千円

## (2) 開かれた里山の整備・利用推進事業

より多くの県民が里山の森林に親しむことができるよう「開かれた里山」の整備を推進

◆ 予算額 23,472 千円

## (3) 森林サービス産業総合対策事業

森林を活用した新たなビジネスの創業支援 など

◆ 予算額 39,561 千円

## (4) 市町村森林整備支援事業

ライフライン沿いの支障木伐採や緩衝帯の整備など地域の課題に対して支援

◆ 予算額 175,300 千円

森林づくり県民税活用事業 令和6年度(2024)当初予算 総括表

単位：千円

基本方針における区分	令和6年度実施内容	R6予算額	R5予算額	増減	備考
<b>I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり</b>		<b>330,780</b>	<b>241,800</b>	<b>88,980</b>	
1 再造林の加速化	主伐・再造林等の加速化を図るため、人工造林・下刈り等の初期保育を支援します。 信州の森林づくり事業（人工造林・初期保育の高上げ） ① 再造林省力化モデル推進事業 ② 再造林推進シカ捕獲サポート事業	174,580 161,580 10,000 3,000	93,600 93,600 - -	80,980 67,980 10,000 3,000	
2 防災・減災のための里山整備	未整備の里山のうち、防災・減災のための優先的に整備が必要な里山の間伐等の森林整備を支援します。 防災・減災のための里山整備	156,200	148,200	8,000	
<b>II 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり</b>		<b>153,162</b>	<b>129,390</b>	<b>23,772</b>	
3 県民が広く親しめる里山づくり	・より多くの県民が里山の森林に親しむことができるよう「開かれた里山」の整備を推進します。 ・地域住民等による里山の森林管理体制を確立するため、整備・利用計画の樹立や資機材導入等の活動基盤整備を支援します。 開かれた里山の整備事業 開かれた里山の整備・利用推進事業	79,472 56,000 23,472	55,590 34,400 21,190	23,882 21,600 2,282	
4 広く県民が利用する施設等の木造・木質化等	・民間施設等の木造・木質化等を支援し、県有施設の木造・木質化等を推進します。 ・小中学生等を対象とした木工教室などの木工体験活動を支援します。 ・県産材を使用した建築物等のCO2固定量の認証や工務店等に対する認証制度の広報活動を推進します。 あたりまえに木のあ る暮らし推進事業 広く県民が利用する施設等の木造・木質化 木工体験の推進支援 長野県産材CO2 固定量認証	40,000 38,550 1,050 400	40,000 38,550 1,050 400	0 0 0 0	
5 やまほいくのフィールド整備や学校林の整備等	・自然保育に係るフィールド等の整備を行う認定園に対し整備費用を支援します。 ・地域の里山や学校林を利活用して行う森林環境教育を支援します。 信州やまほいく認定団体保育環境等向上事業 学びと育ちの森づくり推進事業	6,000 (14,710) 6,000 (8,710)	5,800 (12,030) 5,800 (6,230)	200 (2,680) 200 (2,480)	( )内は再掲分 含む額 県民文化部 再掲（7の内 数）
6 まちなかの緑・街路樹の整備	・信州まちなかグリーンインフラ推進計画に基づく街中の緑地整備を支援します。 ・街中の緑地保全を推進及び支援します。 ・景観形成のための街路樹の整備・植樹を推進します。 まちなかの緑地整備事業 まちなかの緑地保全事業等 観光地の景観整備（県単道路橋梁維持修繕費）	27,690 4,000 13,690 10,000	28,000 6,000 12,000 10,000	▲ 310 ▲ 2,000 1,690 0	建設部 建設部 建設部
<b>III 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援</b>		<b>60,766</b>	<b>39,593</b>	<b>21,173</b>	
7 森林サービス産業など森林の多面的利用の支援	・健康・教育・観光等の多様な分野で森林空間を活用する取組を支援します。 ・森林セラピー基地等のガイド等の人材育成及び資質向上のための講座の開催等を行います。 森林サービス産業活動支援事業 森林サービス産業人材育成支援事業等 森林の里親企業等から申請された間伐等実施地の森林CO2吸収量の評価審査及び認証を行います。 地球温暖化防止吸収源対策推進事業（長野県森林CO2吸収評価認証制度） 自然観察インストラクターや自然公園施設を活用した取組をしている者を対象とした講習会や研修会を開催します。 信州ネイチャーセンター構築事業	39,561 33,669 5,892 252 2,000	25,854 19,116 6,738 309 1,900	13,707 14,553 ▲ 846 ▲ 57 100	環境部
8 多様な林業の担い手の確保・育成	林業を支える裾野の担い手となる就業者の確保のために必要な経費を支援します。 多様な林業の担い手確保育成事業	18,953	11,530	7,423	
<b>IV 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決</b>		<b>215,350</b>	<b>205,887</b>	<b>9,463</b>	
9 ライフライン等保全対策	市町村が実施する以下の取組を支援します。 ・ライフライン等保全のための支障木等の伐採 ・観光地の魅力向上に向けた森林整備	175,300	166,512	8,788	
11 観光地の景観や緩衝帯の整備	・野生鳥獣による被害防止のための森林整備 ・病虫害被害による枯損木の有効活用及び森林外や未被害市町村での被害木処理等 市町村森林整備支援事業 ライフライン等の保全対策 観光地の景観整備 緩衝帯の整備 森林の病虫害被害対策	63,000 24,300 28,000 60,000	66,600 24,192 15,660 60,060	▲ 3,600 108 12,340 ▲ 60	
12 病虫害被害対策					
10 河川沿いの支障木等伐採	市町村が管理する準用河川区域及びその周辺の河畔林のうち、市町村が行う防災効果の高い箇所での除間伐を支援します。 河畔林整備事業	40,050	39,375	675	建設部
<b>V 普及啓発、評価検証</b>		<b>8,526</b>	<b>8,200</b>	<b>326</b>	
13 森林づくりを推進するための普及啓発、森林税事業の評価・検証	県民の理解を深めるための広報・普及啓発活動等を実施します。 みんなで支える森林づくり推進事業等	8,526	8,200	326	
<b>合計</b>		<b>768,584</b>	<b>624,870</b>	<b>143,714</b>	

# 令和6年度当初予算 森林づくり県民税活用事業一覧

事業区分		R6 予算額 (千円)	R5 予算額 (千円)	前年比 (千円)	目 標			備 考
事業名	事業概要				基本方針 の目標	5年間 の目標	R6年度 の計画	
<b>I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり</b>		<b>330,780</b>	<b>241,800</b>	<b>88,980</b>				
再造林の加速化	① 【信州の森林づくり事業 (人工造林・初期保育の嵩上げ)】 主伐・再造林等の加速化を図るため、 人工造林・下刈り等の初期保育を支援	161,580	93,600	67,980	再造林面積 (ha)	2,900	420	後年に向け予算 額、目標値ともに 増加していく想定
	新 【再造林省力化モデル推進事業】 再造林の省力化を図るために必要な架線の 設置や自走式下刈り機のリース料等を支援	10,000	0	10,000				
	新 【再造林推進シカ捕獲サポート事業】 再造林後の森林の確実な更新を図るための 罠の見回りや機器の保守作業等を支援	3,000	0	3,000				
	小計	174,580	93,600	80,980				
防災・減災のための 里山整備	② 未整備の里山のうち、防災・減災のための 優先的に整備が必要な里山の間伐等の森林 整備を支援	156,200	148,200	8,000	間伐面積 (ha)	1,500	400	
<b>II 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり</b>		<b>153,162</b>	<b>129,390</b>	<b>23,772</b>				
開かれた里山整備 事業	③-1 より多くの県民が里山の森林に親しむこと ができるよう「開かれた里山」の整備を推 進	56,000	34,400	21,600	県民が広く親 しめる里山整 備利用地域の 箇所数	50	10	
	③-2 地域住民等による里山の森林管理体制を確 立するため、整備・利用計画の樹立や資機 材導入等の活動基盤整備を支援	23,472	21,190	2,282				
	小計	79,472	55,590	23,882				
あたりまえに木の ある暮らし推進 事業	④-1 【広く県民が利用する施設等の木造・ 木質化】 民間施設等の木造・木質化等の支援、県有 施設の木造・木質化等の推進	38,550	38,550	0	木造・木質化 等の箇所数	55	11	
	④-2 【木工体験の推進支援】 小中学生等を対象とした木工教室などの木 工体験活動を支援	1,050	1,050	0				
	④-3 【長野県産材CO2固定量認証】 県産材を使用した建築物等のCO2固定量の認 証や工務店等に対する認証制度の広報活動 を推進	400	400	0				
	小計	40,000	40,000	0				
やまほいくのフィー ルド整備や学校林の 整備等	⑤ 【信州やまほいく認定団体保育環境等向上 事業】 自然保育に係るフィールド等の整備を 行う認定園に対し整備費用を補助	6,000	5,800	200	フィールド整 備の箇所数	40	8	県民文化部
	⑥ 【学びと育ちの森づくり推進事業】 ※地域の里山や学校林を利活用して行う森 林環境教育を支援	(8,710)	(6,230)	(2,480)	学校林整備等 の箇所数	30	5	※④-1の内数
	小計	6,000	5,800	200				
		(14,710)	(12,030)	(2,680)				※④-1の内数の再掲 分を含む
まちなかの緑・ 街路樹の整備	⑦ 【まちなかの緑地整備事業】 信州まちなかグリーンインフラ推進計画に 基づく街中の緑地整備を支援	4,000	6,000	△ 2,000	緑地整備の 箇所数	10	2	建設部
	⑧ 【まちなかの緑地保全事業】 街中の緑地保全の実施 (11,000千円) 【まちなかの緑地保全補助事業】 街中の緑地保全の支援 (2,690千円)	13,690	12,000	1,690	緑地の 保全延長 (km)	32	6.4	建設部
	⑨ 【観光地の景観整備(県単道路橋梁維持修繕 費)】 景観形成のための街路樹の整備・植樹	10,000	10,000	0	整備延長 (km)	20	5.8	建設部
	小計	27,690	28,000	△ 310				

事業区分		R 6 予算額 (千円)	R 5 予算額 (千円)	前年比 (千円)	目 標			備 考
事業名	事業概要				基本方針 の目標	5年間 の目標	R 6 年度 の計画	
<b>III 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援</b>		<b>60,766</b>	<b>39,593</b>	<b>21,173</b>				
森林サービス産業総合対策事業	⑩-1 【森林サービス産業活動支援事業】 健康・教育・観光等の多様な分野で森林空間を活用する取組を支援	33,669	19,116	14,553	森林サービス産業に取り組む地域プロジェクト数	50	10	【拡充】 森林サービス産業に関する一元的な情報発信や創業相談体制の整備等を新たに実施
	⑩-2 【森林サービス産業人材育成支援事業】 森林セラピー基地等のガイド等の人材育成及び資質向上のための講座の開催等	5,892	6,738	△ 846				
	小計	39,561	25,854	13,707				
地球温暖化防止吸収源対策推進事業 (長野県森林CO2吸収評価認証制度)	⑩-3 森林の里親企業等から申請された間伐等実施地の森林CO2吸収量の評価審査及び認証	252	309	△ 57				
信州ネイチャーセンター構築事業	⑪ 自然観察インストラクターや自然公園施設を活用した取組をしている者を対象とした講習会や研修会の開催	2,000	1,900	100	エコツーリズムガイドの育成人数	25	5	環境部
多様な林業の担い手確保育成事業	⑫ 林業を支える裾野の担い手となる事業者の確保のために必要な経費を支援	18,953	11,530	7,423	多様な林業に関わる新規就業者数	200	44	【拡充】 林業や就業に関するPR活動、業種の枠を超えたニーズのマッチングに向けた調査等を新たに実施
<b>IV 市町村と連携した森林等に関する課題の解決</b>		<b>215,350</b>	<b>205,887</b>	<b>9,463</b>				
市町村森林整備支援事業	⑬ 【ライフライン等の保全対策】 ライフライン等保全のための支障木等の伐採	63,000	66,600	△ 3,600	整備箇所数	150	30	
	⑭ 【観光地の景観整備】 観光地の魅力向上に向けた森林整備	24,300	24,192	108	観光地の景観整備箇所数	100	20	
	⑮ 【緩衝帯の整備】 野生鳥獣による被害防止のための森林整備	28,000	15,660	12,340	緩衝帯の整備箇所数	100	38	
	⑯ 【森林の病虫害被害対策】 病虫害被害による枯損木の有効活用及び森林外や未被害市町村での被害木処理等	60,000	60,060	△ 60	枯損木利用材積被害木処理材積 (m <sup>3</sup> )	10,000 5,400	2,000 1,080	
	小計	175,300	166,512	8,788				
河畔林整備事業	⑰ 市町村が管理する準用河川区域及びその周辺の河畔林のうち、市町村が行う防災効果の高い箇所での除間伐を支援	40,050	39,375	675	整備箇所数	70	14	建設部
<b>V 普及啓発、評価検証</b>		<b>8,526</b>	<b>8,200</b>	<b>326</b>				
みんなで支える森林づくり推進事業	⑱ 県民の理解を深めるための広報・普及啓発活動等	8,526	8,200	326	-	-	-	
<b>合 計 (a)</b>		<b>768,584</b>	<b>624,870</b>	<b>143,714</b>				

※千円未満の四捨五入により合計が一致しない場合がある

【再掲：部局別】

部 局 名	R 6 予算額 (千円)
林 務 部	692,844
建 設 部	67,740
環 境 部	2,000
県 民 文 化 部	6,000
合 計	768,584



現状

計画的な主伐・再造林の推進により、今後10年かけて80年サイクルで更新する仕組みを構築するため、以下の取組を実施  
 ○資源の循環利用に適した森林(林業経営適地)を明確にするとともに、長野県主伐・再造林推進ガイドラインを策定  
 ○再造林やその後の初期保育に必要な標準的な経費を全額支援することで、森林所有者の負担軽減を図り再造林を促進  
 ⇒当面5年後の(R9)の再造林面積を面積を年間1,000haとする(10年後(R14)には年間1,250haへ)

課題

○地域によっては地形が急峻で森林作業道の開設が困難であることから、その進捗に地域差が生じている  
 ○再造林が進んでいる地域では、下刈り等の保育作業が担い手不足により、再造林に支障が生じている  
 ○二ホンジカ等食害密度が高い地域では捕獲等の対策が追い付かず、植栽木が食害を受け、森林の更新に支障が生じている

主伐・再造林の確実な推進に向け、課題に対応するための事業を実施

- 【継】(1)長野県主伐・再造林推進ガイドラインに基づく再造林とその後の下刈り等に必要な標準的な経費を全額支援
- 【新】(2)地形が急峻で森林作業道の開設が困難な地域において、架線を活用した主伐・再造林及び保育等に係る経費を支援
- 【新】(3)二ホンジカ等の食害から植林後の苗木を守るため「わな」の見回り、併せて行う機器やシカ柵の点検等への活動経費を支援

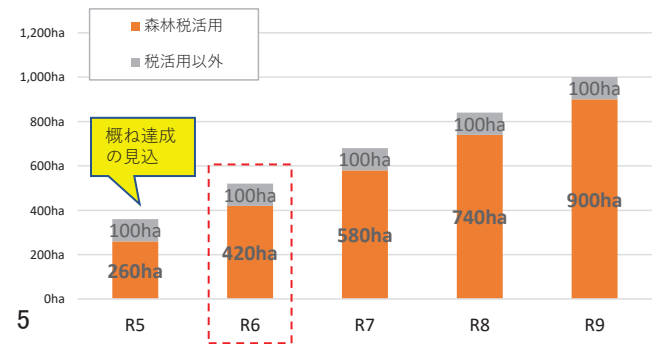
【継】信州の森林づくり事業 R 6 予算額 538,600千円(森林税161,580千円)



- ・事業主体：市町村、森林組合、生産森林組合、森林所有者 等
- ・補助率：10/10 ※(国庫及び一財 7/10、森林税 3/10)
- ・事業目標：森林税を活用した再造林面積 420ha

※標準的な経費に対する補助率

再造林面積の目標



①

新 再造林省力化モデル推進事業

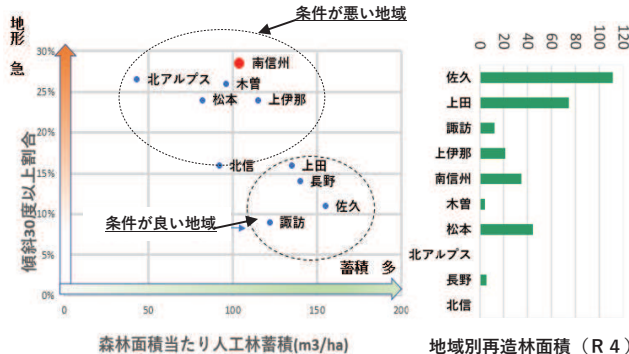
- 地形が急峻で森林作業道の開設が困難な地域において、「空の道」とも言われる架線を活用した主伐・再造林及び保育等に係る経費を支援

○ 補助率等

- ・事業主体：市町村、森林組合、生産森林組合、森林所有者 等
- ・補助率：定額、9/10  
 : 架線の架設・撤去に係る支援 7,000千円、自走式下刈り機等のリース支援 3,000千円
- ・事業目標：森林税を活用した再造林面積 420ha

1 主伐・再造林を進める上での課題

- 南北に広い県内は地域によっては、地形が急峻で森林作業道の開設が困難であることから、主伐後の再造林等の進捗に地域差が生じている
- 主伐時に搬出されなかった枝条等が林地に残され、有効活用されず、再造林の際、植栽の支障となっている
- 再造林が進んでいる地域では、下刈り等の保育作業が担い手不足により、再造林に支障が生じている



課題に対応するため、県内でモデル的に実施

2 取組内容

- 架線を活用した資材運搬等により再造林の効率化
- 架線を活用した全木集材による資源の有効活用  
 架線等を活用し、一貫作業による主伐から再造林までの実施及び再造林に必要な苗木、資材等の運搬を行う場合、架線の架設に係る標準的な経費の一部を支援



- 自走式下刈り機や苗木運搬機械等による省力化・労務軽減化  
 植栽・下刈り等の省力化に資する自走式下刈り機等のリース料の一部を支援



人力からの転換による省力化



下刈りは植栽木の育成に必須。木下の作業で効率化(無駄の省却)

リース支援対象機械の一例(乗用下刈り機)

②

➤ 二ホンジカ等の食害から植栽後の苗木を守るため、林業事業者が捕獲者と連携して行うわなの見回りやICT機器の保守作業等の活動経費を支援

- 補助率等
  - ・事業主体：市町村
  - ・補助率：10/10以内
    - ：「林内捕獲サポート隊」が行うわなの見回り等の捕獲補助活動経費への支援 3,000千円
  - ・事業目標：森林税を活用した再造林面積 420ha

**1 主伐・再造林を進める上での課題**

○二ホンジカの生息密度の高い地域では、植栽後の若い苗木の二ホンジカによる食害を柵等による防護対策だけでは防ぎきれない。

○食害を受けるリスクから主伐・再造林への意欲が低下している。



引きちぎられた枝葉

○わなを設置して捕獲圧を高めることが有効だが、捕獲者にとっては、毎日見回りを行う必要があり、負担が大きい（特に奥山）。



奥山でのわなの見回り

課題に対応するため、市町村の活動を支援

**2 取組内容**

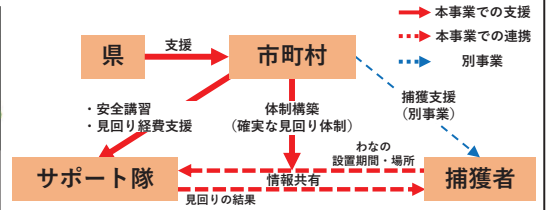
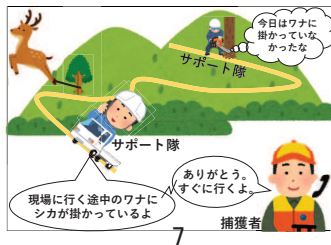
◎市町村が組織する「林内捕獲サポート隊」の活動を支援

二ホンジカ等の捕獲圧を高め食害リスクを低減するため、市町村が林業事業者の職員等で構成する「林内捕獲サポート隊」を設置し、わな設置後の見回り等を実施する。県はその活動に要する経費を支援する。

- 支援内容（県→市町村）
  - ・林内捕獲サポート隊が行う、わなの見回り等の捕獲補助活動※に要する経費
  - ・林業事業者職員への安全作業の研修経費
  - ・捕獲者や林業事業者と活動内容及び活動体制を調整するための技術的指導

＜※捕獲補助活動の内容：狩猟免許がなくても実施可能な活動＞

- ・わなの見回りや給餌、併せて行う機器やシカ柵の点検
- ・シカが捕まっていた場合に捕獲者へ連絡



3

**森林サービス産業総合対策事業**

➤ 「森林サービス産業推進ネットワーク（仮称）」を立ち上げ、情報交換の機会の設定や相談窓口を設置するとともに、創業時の支援や活動支援、人材育成等の地域の課題に対応

■森林サービス産業の推進（R6）

**① 森林サービス産業の推進体制の構築** 3,221千円 拡充

情報交換、相談窓口の設置、共同研究等

市町村等 → 登録 → 森林サービス産業推進ネットワーク（仮称） → 利用者等

事業者（会員） → 登録・サービス情報 → 森林サービス産業推進ネットワーク（仮称） → 情報提供

（利用相談、ネットワーク運営、創業相談等）

相談窓口

創業希望者等

**④ 森林空間の整備と森林の利活用**

森林空間の整備、林内施設等の整備 15,910千円  
（森林整備9/10、施設整備1/2）

＜対象に森林セラピー基地等から森林サービス産業を提供する民間事業者へ拡大＞

森林を活用した環境教育等 8,710千円  
（森林整備9/10、活動経費10/10）

企業との連携による森林づくり 1,135千円  
（森林の里親促進事業）

**② 創業支援・活動支援等** 4,693千円

段階に応じた支援（森林ベンチャースクール）

交流会、創業セミナー、人材育成研修、アイデアコンペ、マッチング

創業支援（創業に必要な経費への補助） 補助率10/10、最長2年間、上限100万円

専門家による助言・指導

木曾谷・伊那谷フォレストバレーの取組と連携して実施

**③ 森林の利活用を導く人材の育成** 5,892千円

●地域コーディネーターの育成

●森林の癒しガイドの育成（「信州森林の癒し案内人（仮）」制度）

●里山利活用人材の育成

「信州森林の癒し案内人（仮）」の登録

講座修了実務経験 → 登録申請 8 → ネットワーク制定基準 → 登録

民間事業者に一括委託

ネットワーク運営委託

創業・活動支援委託

人材育成業務委託

県執行

拡充

森林サービス産業の創業イメージ

MTB、森林の健康利用

人材育成とフォレスト・アップ

ガイド育成、人材の交流

4



# 林業人材の確保・育成

R6当初予算額 124,787千円  
(うち 森林づくり県民税 18,953千円)

- ▶主伐再造林の推進など、ゼロカーボン実現や林業振興のための森林整備を支える**林業人材を着実に確保・育成するため、林業労働力関連施策を拡充**
- ▶これまでの施策に加え、新規就業支援金の新卒者への支給、他産業との兼業や短期雇用といった多様な働き方に対する支援の拡充など、効果的に施策を講じることで、**全国トップクラスの働きやすい林業県づくりを一層推進**

## 令和6年度施策

事業の  
対象者

A 林業の中核的担い手  
B 多様な林業の担い手

<p><b>①新規就業者の確保</b> (A B)</p> <p>■ 転職・移住者等への支援金給付等 27,596千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校卒業後の林業への就職や他産業から転職した際の支援金(10万円/人) ＜新卒者を対象者に追加＞</li> <li>・他県から移住して県内の林業事業者等へ就業した際の支援金(100万円 or 60万円) ) ＜新卒者を対象者に追加＞</li> <li>・先輩就業者への相談体制の構築</li> </ul> <p>■ 就業希望者等へのセミナー等開催 7,069千円</p> <p>【拡充なし】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同就職説明会(年2回)</li> <li>・林業セミナー(年6～7回)</li> </ul>	<p><b>②保育従事者の確保</b> (A B)</p> <p>■ 保育従事者新規雇用支援 16,188千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育従事者の確保のため林業従事者が前年度から増加した際の奨励金(12万円/月(最長3ヶ月分)) ＜前年度人数から定年退職者を除いた増加人数で算出するよう拡充＞</li> <li>・新規採用者に対する資格取得補助</li> </ul> <p>■ 保育従事者のマッチング 5,559千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育事業者を雇用したい事業者と働きたい人の産業の枠を越えたマッチング</li> <li>・兼業等のマッチングニーズ調査・モデル実施</li> <li>・保育従事者を雇用する事業者と素材生産事業者の圏域を越えたマッチング</li> <li>・主伐・再造林を推進するための専門的な見地からの指導・助言</li> </ul>	<p><b>③多様な担い手の確保</b> (B)</p> <p>■ 多様な林業の担い手確保支援 17,744千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就業者に必要な機械等に対する事業者への準備金(10万円/人)、安全装備品(1/2)や福利厚生(1/3)の支援 ＜短期雇用者を対象に追加＞</li> <li>・新規参入資格取得支援 ＜新たな作業種の資格取得経費を支援＞</li> <li>・兼業、林福連携の受入れ支援(3万円/回) ＜「林業の中核的担い手」も受入れ先に追加＞</li> <li>・就業情報に関するプラットフォームの整備 ＜就業等の情報を一元化したHPの作成＞</li> <li>・外国人材就業検討 ＜外国人材の受入れ体制等を検討＞</li> <li>・中学校の職業体験、イベント開催等認知度向上</li> </ul>
<p><b>④創業チャレンジの応援</b> (B)</p> <p>■ 創業による新規事業展開支援 12,000千円</p> <p>【拡充なし】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創業に必要な機械等の導入(1/2)</li> <li>・上記のほか制度資金による設備、運転資金の支援</li> </ul>	<p><b>⑤定着促進＜経営基盤の強化や生産性の向上、就業環境の改善や安全対策の強化＞</b> (A)</p> <p>■ 持続的な林業経営支援 7,284千円</p> <p>【拡充なし】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアモデルの作成(優良モデルの分析や紹介)</li> <li>・経営力、生産性の向上(スキルアップ講座)</li> </ul> <p>■ 安全対策の強化 14,846千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全装備品の支援(1/2) ＜短期雇用者を対象に追加＞</li> <li>・巡回指導、安全講習</li> <li>・指導者の育成</li> </ul> <p>■ 就業条件の整備 16,501千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退職金共済掛金、特殊健康診断、蜂アレルギー検査等補助(1/3) ＜短期雇用者を対象に追加＞</li> </ul>	

9

<> : 令和6年度拡充内容

森林税活用事業

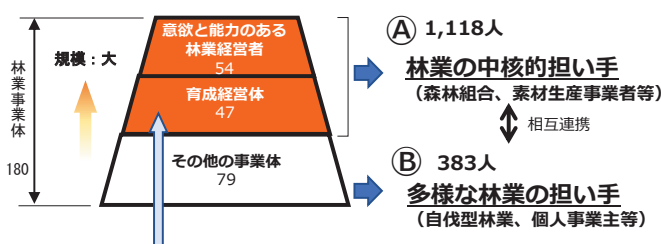
5

# 林業人材の確保・育成（就業に係る各段階での支援策等）

- ▶林業就業者の確保に向け、裾野の拡大から就職、就業後の定着促進に至るまで、**各段階での体系的かつ総合的な支援策を措置**
- ▶これにより、ここ3年増加傾向にある林業就業者について、**新規就業者120人/年を確保し、主伐・再造林を推進**（5年間で最大100人の増員（就業者1,500人→1,600人）を目指す）

## 事業者（就業者）の構造

人材の確保・育成 R4: 1,501人 (R3: 1,499人, R2: 1,449人)



**目標:** 新規就業者120人/年  
(過去5年平均約100人/年)

**特徴:** 他産業からの転職(約6割)が多い  
県外からの移住(約3割)

森林・林業を学びたい者、  
起業を考えている者等

就業意欲の喚起

林家、地域リーダー、他分野事業者等  
森林に関心を持つ者  
(就業希望者や学生等、移住者を含む)

C 林業人材の育成  
イノベーション

D 森林の利活用人材  
森林・林業の理解者

<p><b>A 林業の中核的担い手</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新規就業者の育成(緑の雇用)</li> <li>・就業準備金</li> <li>・研修費用・指導者130～140万円/人</li> <li>■ 就業環境の整備</li> <li>・退職金共済加入等福利厚生の充実</li> <li>・安全装備</li> <li>■ スキルアップ</li> <li>・スマート林業、高性能林業機械</li> </ul> <p><b>A B 共通</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 保育従事者の確保・新規就業者の確保</li> <li>・圏域や産業の枠を越えた労働力のマッチング、新規雇用の奨励、資格取得支援</li> <li>■ 林業労働安全の強化</li> <li>・安全巡回指導、安全装備、指導者の育成等</li> </ul>	<p><b>B 多様な林業の担い手</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 多様な林業の担い手対策</li> <li>・就業準備金</li> <li>・兼業、林福連携支援</li> <li>・安全福利厚生対策</li> <li>・起業・創業支援</li> </ul>
---	--

## 林業事業者への就職

<p><b>A B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 転職・移住支援</li> <li>・キャリアスタート(新卒・転職)10万円/人</li> <li>・移住支援60万円or100万円/人</li> <li>■ 情報の収集</li> <li>・林業セミナー(年6～7回)</li> <li>・林業前研修</li> <li>・現場見学会(年数回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 相談体制の構築</li> <li>・先輩就業者の相談窓口の設置</li> <li>■ 将来像の提示・定着促進</li> <li>・キャリアモデルの作成</li> <li>■ 就職先とのマッチング</li> <li>・共同就職説明会(年2回)</li> <li>・就業相談</li> </ul>
---	---

C ■ 木曾谷・伊那谷フォレスト  
バレーの形成

・推進体制の構築  
・人材育成・創業支援プログラムの開発・実行  
・木曾谷の林業移住、就業、就学の促進

D ■ 林業の認知度の向上

・森林環境教育、学校林の活用等  
・中学生の職業体験、高校生体験研修  
・イベント、森林・林業体験  
・林業就業等の情報発信

D ■ 地域人材の育成  
・コーディネーター、地域リーダー育成  
D ■ 外国人材就業検討  
・受入れ体制の整備

10

6